



鳥栖市

アスリートの聖地として輝く鳥栖市 —もっと子どもたちが誇れるまちに—

スポーツの力は鳥栖市に元氣と夢を与えてくれます。
今年オープンした「サロンパス®アリーナ」や地域との交流、今後の目標について、
鳥栖市長とサガン鳥栖、久光スプリングスのキャプテンが語り合いました。

対談

サガン鳥栖 キャプテン
藤田 直之氏

鳥栖市長
向門 慶人氏

久光スプリングスキャプテン
大竹 里歩氏



サロンパス®アリーナ「スプリングスラウンジ」にて



◆ スポーツが盛んなまち・鳥栖市

—今年度から鳥栖市が活動の拠点となった大竹キャプテン、昨シーズン6年ぶりに鳥栖市に戻って来られた藤田キャプテン。鳥栖市について印象をお聞かせください。



大竹 皆さん、優しいですね。地元のスーパーに買い物に行ったときは、気さくに、まちの人が声をかけてくれたり、楽しめる場所もあって過ごしやすいなと思いつつ生活しています。

—気軽にスーパーに行かれるんですね。



大竹 行きますよ。よく行くのは鳥栖駅前のプレスポ。お年寄りの方からは「大きいねえ」と言われます(笑)。選手同士では鳥栖プレミアムアウトレットに買い物に行きます。食事は鳥栖の方々に美味しいお店を教えてくださいますが、自分たちでも今、開拓中です。

—藤田さんは6年前とは変わったなというところはありますか。



藤田 いい意味で変わってないですね。6年前、鳥栖を離れることに決まったときから、また帰ってきたいと思っていましたが、お店も変わってないし、顔馴染みのサポーターも変わらずいてくれて、鳥栖に帰ってきて「ほっ」としています。

—市民の皆さんが、藤田さんの帰りを待っていたと思います。



藤田 「帰って来てくれてありがとう」とサポーターから声をかけてもらうことが多いので、それがめちゃくちゃ嬉しいですね。

—鳥栖市は、本当にスポーツが盛んなまちですね。



向門 自転車女子ケイリン、水泳、陸上の高跳びなどたくさんのオリンピック選手を輩出しています。今夏は鳥栖工業高校が甲子園出場を果たしましたし、同高校のレスリング部がインターハイで優勝しました。「箱根駅伝」では、鳥栖工業高校出身の大学生が何人も活躍していますし、鳥栖高校の女子体操部は全国トップクラスです。鳥栖市は人口7万4千人の小さなまちですが、アスリートがたくさん育っているんですよ。

—高校生の活躍も目立ちますね。



向門 世界を目指す中高生のアスリートの育成のために、佐賀県が「鳥栖アスリート寮」を整備してくれました。いろんな地区からアスリートが集まってくれています。指導者も熱心な方が多いんですよ。その指導者から学びたいと集まる子どもたちも多いような気がします。



鳥栖市長
向門 慶人氏

◆ 市民も利用できる「サロンパス®アリーナ」オープン

—そんなスポーツが盛んな鳥栖市に、今年5月、久光スプリングスの練習拠点「サロンパス®アリーナ」がオープンしました。



大竹 私たちは地域に密着したチームを目指しています。サロンパス®アリーナを気軽に市民の方に利用してもらって、私たちがより身近に感じてほしいですし、いろんな使い方を楽しくしてほしいと思います。



向門 鳥栖市はこれまで体育館が1つしかなかったんですよ。いつも混み合っていて市民が十分に活用できていませんでした。そんな中でサロンパス®アリーナがオープンし、サブアリーナなど市民も利用できるのはありがたいですね。公開練習の日は、メインアリーナで選手の練習も見学できます。バスケットなどいろんな種目のスポーツ大会やコンサートなどさまざまなイベントにも利用できますから、市民がスポーツやイベントに触れる機会も増えるのではないのでしょうか。トレーニングルームも一般に開放してもらっています。私も早速会員になりました(笑)。プログラムは私の体力や筋力レベルに最適なトレーニングをAIが管理してくれるそうなんです。



藤田 そんなAIを使ったトレーニングはやったことないです(笑)



向門 このシステムは日本初とのことですよ。



大竹 初心者でも何も分からなくても、AIが教えてくれますから安心してトレーニングができますよ。

—「サロンパス®アリーナ」の使い心地はどうか。市民も一緒に利用していることについて、久光スプリングスの選手はどう思っているのでしょうか。



大竹 最初の一カ月くらいは、使い方が分からなくてウロウロしました(笑)こんな素晴らしいアリーナで練習できるなんて、毎日新鮮で感動です。トレーニングルームも充実していますし、プールもあるのでリハビリが必要な選手もそこでトレーニングができます。私も今年30歳ですが、ケア施設が充実しているのはありがたいですね。久光スプリングスの拠点も神戸から鳥栖に戻って来て、より地域に密着したチームを目指そうという気持ちがあるので、市民の方に気軽にサロンパス®アリーナを利用して、私たちがより身近に感じてほしいですし、いろんな使い方を楽しくしてもらえたらと思いますね。

—サガン鳥栖U15の練習環境の整備も行われているようですね。



向門 佐賀県と鳥栖市、サガン鳥栖で鳥栖市内にサガン鳥栖U15(※1)の練習場として使えるように環境整備をしようと話し合いを進めているところです。完成後は、サガン鳥栖U15が使用しない時には市民の方にも開放を予定されていると聞いています。

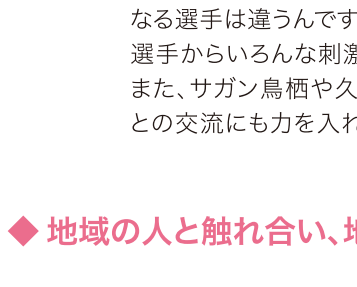
◆ 地域の方と触れ合い、地域貢献

—2つのプロスポーツチームが鳥栖市をホームタウンにしています。鳥栖市にとってどんな意義がありますか。



向門 プロのアスリートが目前にいるなんて、こんな素晴らしい環境はないと思います。サガン鳥栖や久光スプリングスの試合の応援に行き、憧れの選手がプレーしている姿を見ると、子どもたちの目がキラキラしているんですね。「あんな選手になりたい」「あんなプレーをしたい」と将来の夢が広がると思います。鳥栖市は移住政策を進めています。サガン鳥栖アカデミーに入りたいたいという理由で鳥栖市に移住する家族もいますから、スポーツの力は大きいです。私も鳥栖高校で野球をやっていました。プロ野球広島カープの監督も務めた緒方孝幸さんは先輩です。プロになる選手は違うんですよ。心も体もプロになるための試練を乗り越えた選手にはオーラがあります。子どもたちは選手からいろんな刺激を受けていると思います。また、サガン鳥栖や久光スプリングスの選手たちが、学校などでスポーツ教室を開いたり、地域のために市民との交流にも力を入れていただいているのでありがたいです。

◆ 地域の人と触れ合い、地域に根付く



サガン鳥栖 キャプテン
藤田 直之氏

—お二人は地域の方との交流に参加されたことはありますか。



大竹 地区のスポーツ教室に伺いました。子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の方が参加されましたよ。ソフトバレーボールやモルック(※)のやり方を教えてもらいながら、一緒に遊んで楽しかったです。ソフトバレーでは最初、相手にやわらかくボールを返していたんですが、地域のお父様方が強めに打ってくるものですか…(笑)。途中から「しっかりやろう」と力が入りましたね。ときには悔しい思いもあり、汗だくになって走り回ったり、面白かったですよ。また、地域の方がどんなスポーツをやっているか知ることができたし、とてもいい経験になりました。



藤田 僕は、昨年10月、中学2年生を対象にした「さがん夢先生in田代中学校」で田代中学校を訪問しました。僕たちに会うと生徒たちはキラキラと目を輝かせてすごく喜んでくれたので嬉しかったですね。生徒も緊張しながら、サッカーがどうすればうまくなるかなど、いろんな質問をしてくれました。以前、小学生との交流では「奥さんはどんな人で、プロサッカー選手がサッカー教室に来てくれたのですが、その選手から声をかけてもらったことは、生徒の記憶にも残るだろうし、とても良い経験になると思うんですね。生徒たちと話ができて僕も元気をもらえました。

—創設26年目を迎えるサガン鳥栖です。地域のために新しくやっということと計画していることはありますか。



藤田 僕は以前2015(平成27)年までサガン鳥栖に在籍していましたが、当時は学校訪問の機会も多かったように思います。コロナの影響で訪問する機会が減ったというのもあるかもしれませんが、地域に密着しているのがサガン鳥栖の良さですから、こういう触れ合う機会はこれから増えていければと思います。そうすれば子どもたちの刺激にもなりますし、サッカー選手を目指してくれる子も増えてくれるかもしれません。

◆ 競技の垣根を超えた応援ツアーも

—チームが地域に根付くために取り組んでいることはありますか。



大竹 そのためにJR鳥栖駅前でチラシ配りをしたり、学校に行くと子どもと一緒に給食を食べたり、地道な活動を続けて少しずつ鳥栖の中に溶け込んでいければと思っています。また鳥栖さんのように久光スプリングスのことを1人でも多くの方に知ってもらいたいですし、久光スプリングスを誇りに感じてもらえるようになったらと思います。



藤田 久光スプリングスさんが鳥栖に戻って来て、鳥栖市のスポーツはもっと盛り上がりそうだと思うので、お互いに価値を高め合うために、何かしら一緒に出来ることもあつたらいいですね。お互いのファン・サポーター同士が知りあう機会もあつたらいいですね。



向門 種目が異なる2つのプロスポーツチームが1つの小さな市にあるのは珍しいことです。鳥栖市では、競技の垣根を超えてお互いのファンやサポーターが応援し合う「相互エール事業」を企画しています。鳥栖市がサガン鳥栖と久光スプリングスの橋渡し役となって、2つのチームを盛り上げていきたいと思っています。



大竹 サッカーのサポーターは非常に熱い応援もされるイメージがあります。バレーボールは室内競技、また点数の入り方も全く違います。異なる部分も楽しんでもらって「バレーボール楽しかったよ」と思っていたらいいですね。お互いのファン・サポーターも増えていくのではないのでしょうか。楽しい取り組みだと思いますので、どんどんやっていただきたいです。



藤田 サガン鳥栖と久光スプリングスの試合日と時間が丸かぶりして、サガン鳥栖のお客さんが大竹さんの応援に行ってしまうらうというチーム。そんな心配もしつつ、両チームを応援するファン・サポーターが増えたら、すごくいいですね。同日の試合で、時間がずれていたら、サッカー応援からのバレーボール応援に「はじ、じ」してもらうのも面白いですね。



向門 目前で観戦すると感動しますよ。サッカーファンがバレーボールを、バレーボールファンがサッカーを観戦して、どちらもファンになってもらいたいです。

—選手同士の交流はどうなんでしょうか。藤田さんはバレーボールをやったことありますか。



藤田 クラスマッチでやったぐらいかな(笑)。そういえば試合の翌日、リカバリー(体を回復させるトレーニング)で手と足を使ってバレーボールをやりますね。



大竹 私は、サッカーはやったことはないですね。でもバレーボールは、全身どこを使っているんですよ。練習でリフティングとかもやりますよ。試合中は手で間に合わないときは足で受けたりします。私たちがサガン鳥栖と同じリカバリーメニューを取り入れようかな。リカバリーメニューで交流試合でもしますか(笑)

◆ 夢は両チーム日本一。声援が選手の力に

—間もなく開幕するVリーグ、佳境を迎えるJリーグ。それぞれ意気込みを語ってください。



大竹 昨年は3位と悔しい思いをしました。2年前、優勝した経験を思い出して、目標は「女王奪還」(※2)。鳥栖に拠点を移して最初のシーズンです。優勝を目指します。もう一つ目標があります。それは久光スプリングスのホームアリーナ「SAGAアリーナ」を満員にすることです。今季開幕戦10月21日(土)、22日(日)に満員の会場でプレーできれば嬉しいです。頑張ります。



藤田 残りの試合を全部勝って、少しでも上の順位に行けるように頑張ります。試合を地域の方、子どもたちが見て、よりサガン鳥栖を好きになってもらえるように熱く面白い試合を展開していきたいと思っています。



向門 久光スプリングスの10月22日(日)の試合では、鳥栖市の冠試合「鳥栖市民応援DAY」を開催します。また、久光スプリングスと連携して、開幕戦の21日、22日の両日に鳥栖市内の中小高校生とその家族を中心にそれぞれ1000人を招待しました。鳥栖から応援に行きますよ。サガン鳥栖では毎年「鳥栖市民デー」を開催して応援しています。2つの会場を満員にして応援したいですね。

—皆さんにメッセージをお願いします。



大竹 皆さんの応援で、私たちはより強く、成長していくためのパワーをもらえます。ご声援よろしくお祈りします。



藤田 満員のスタジアムから送られる声援は、選手の大きな力となり、何倍もパワーを引き出してくれます。僕たちが満員のスタジアムでプレーしたいと思っていますし、皆さんに来ていただくためには良い試合をして結果を出さないといけないと思っています。頑張ります。スタジアムに足を運んでもらって、ともに戦ってほしいと思います。



向門 両チーム日本一が私たちの夢です。サガン鳥栖がいて、久光スプリングスがいて、ほかのスポーツも盛んです。鳥栖市としても「スポーツのまち」として全国にアピールしていきたいと思っています。

(注 モルック)

—フィンランド発祥のニュースポーツ。「モルック」という棒を下手で投げ、木製のピン「スキトル」が倒れた内容により加点していく、点数がピタリ50点になった方が勝ち。

(※1)

サガン鳥栖U-15主な成績	
◎2022年度実績	・KYFA 堺整形外科杯2022 第37回九州クラブユース(U-15)サッカー選手権大会 優勝 ・第37回 日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会 3位
◎2021年度実績	・第36回 日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会 準優勝 ・高円宮杯 JFA 第33回全日本U-15サッカー選手権大会 優勝
◎2020年度実績	・2020 九州ユース(U-15)サッカーリーグ 優勝 ・第35回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会 優勝

(※2)

久光スプリングス主な成績	
◎2021-2022シーズン	天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会 優勝 (2大会ぶり9度目) 2021-22 V.LEAGUE DIVISION1 WOMEN 優勝 (3季ぶり8度目)
◎2022-2023シーズン	天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会 3位 タイ 2022-23 V.LEAGUE DIVISION1 WOMEN 3位 アジアクラブ選手権大会 5位